



日本共産党香川県委員会と党後援会は18日、高松市で市田忠義副委員長を迎えた。7月の参院選で香川県議出身の白川よう子候補をはじめ比例5人の勝利で政治を前に動かそうと、参加者の熱気でうど、参加者の熱気であふれました。白川氏は、活動地域の西日本17県を回ると「どこでも大軍拡の大波にさらされている」と実感を吐露。市民の大本にメスを入れる党の前進が不可欠だとして「力を合わせて比例5議席を必ず勝ち取り、国会へ駆けあがる。へび年の今年、私自身も大きく脱皮する」と力

市田副委員長迎え 新春のつどい 二つのゆがみに切り込む党



強く決意表明しました。

市田氏は参

院選の意義に

ついて、自民

党政治の延命

に手を貸す党

が伸びても変

わらず「アメ

リカいいなり

大企業中心の

二つのゆがみ

に切り込む党の躍進でこそ

自民党政を終わらせる展

望が開ける」と力説。比例改選4から5議席の当選に全国の党機関、支部が責任を持つと述べました。



1月15日、JR高松駅前で、香川県教職員組合と県高等学校教職員組合が中心となり県労連へ結集する単

高松駅で1・15一斉宣伝行動 全教・香川県労連

4人の【2面につづく】

県内1基目の憲法9条の碑

綾川町で2024年11月2日に香川県で初となる憲法9条の碑の1基目が建立されました。昨年12月時点で全国には50基。

12月8日には平和病院前で香川県での2基目が建てられました。「日本政府の大軍拡の流れを食い止め、憲法9条に基づいた平和への意志や運動を広めたい」という故安藤利光前綾川町長が、憲法9条に基づいた平尾正雄、小田忠男、三好正幸、岡田美代子、安藤利光各前町議の名前が刻まれました。

議の遺志を形にするために、憲法9条が前面に刻まれ、遺族の了承を得て、歴代の反戦平和の運動に身を投じた日本共産党的安藤氏を含む5人の前綾川町議（「憲法をくらしに」の文言と、平尾正雄、小田忠男、三好正幸、岡田美代子、安藤利光各前町議）の名前が刻まれました。



【3面から】落合さんは「この4中総のSNSの発展した方針に『デジタルは苦手』『若い世代についていけない』など人によりさまざま受けとめもあるでしょうが、『千里の道も一歩』からで

知人に勧めるなどできることを模索していくましよう」とコメントしました。

郷土史辞典「笠居郷探訪」（一部抜粋） 奉安殿

著者 立山 信浩

（23）

御真影（天皇・皇后の写真）

県ではそれより早く明治23年（1890）10月23日、県下

の高等学校に対しても御真影

揮受のために県庁に出頭せよ

という通知が出されている。

奉安殿は校地内で最も清浄・神聖な場所であるとされ、生徒はみだりに近づいてはならず、登下校の際に近くを通る場合は奉安殿に最敬礼することを義務づけられた。

教育勅語謄本などを奉安するた

めに1920年代から30年代にかけて全国の小学校敷地内に建てられた施設。

奉安殿は校地内で最も清浄・神聖な場所であるとされ、生徒はみだりに近づいてはならず、登下校の際に近くを通る場合は奉安殿に最敬礼することを義務づけられた。</p